日本人労働者における糖尿病・前糖尿病と自殺の関連

職域多施設共同研究（J-ECOH スタディ）

Fukunaga et al. (2020) Journal of Psychosomatic Research

背景：

- 糖尿病により自殺のリスクが高まることが報告されている。
  - メタ分析によると糖尿病患者は健常者と比較して自殺のリスクが1.56倍高かった（Wang et al. 2017）。
- この関連を説明するメカニズムは明らかではないが、糖尿病患者はうつ病（自殺の危険因子）になりやすいことが知られている。
  - その理由として、糖尿病と診断されたことによる苦痛や糖尿病治療の負担が示唆されている。
- しかしながら、先行研究では以下の課題が残されている。
  - 自殺直前の糖尿病状態については検討されていない。
  - 前糖尿病（糖尿病予備軍）と自殺に関する研究はほとんどない。
  - 自殺者の増加が懸念される労働者集団における研究はない。

目的：

- 日本人労働者における糖尿病・前糖尿病と自殺の関連を明らかにする。

日本人労働者における糖尿病・前糖尿病と自殺の関連

職域多施設共同研究（J-ECOH スタディ）

方法：

- 職域多施設共同研究（J-ECOH スタディ）にもとづいて、
  コホート内症例対照研究を実施した。

- 2012年4月～2020年3月（8年間）の追跡中、自殺する前の直近3年間
  いずれかの健康診断において空腹時血糖またはヘモグロビンA1c (HbA1c)の
  情報を得た56名を症例とした。

- 各症例について、会社・年齢・性別をマッチングさせて
  5人の対照者を無作為に抽出した（対照群は計280名）。

日本人労働者における糖尿病・前糖尿病と自殺の関連

職域多施設共同研究（J-ECOH スタディ）

方法：

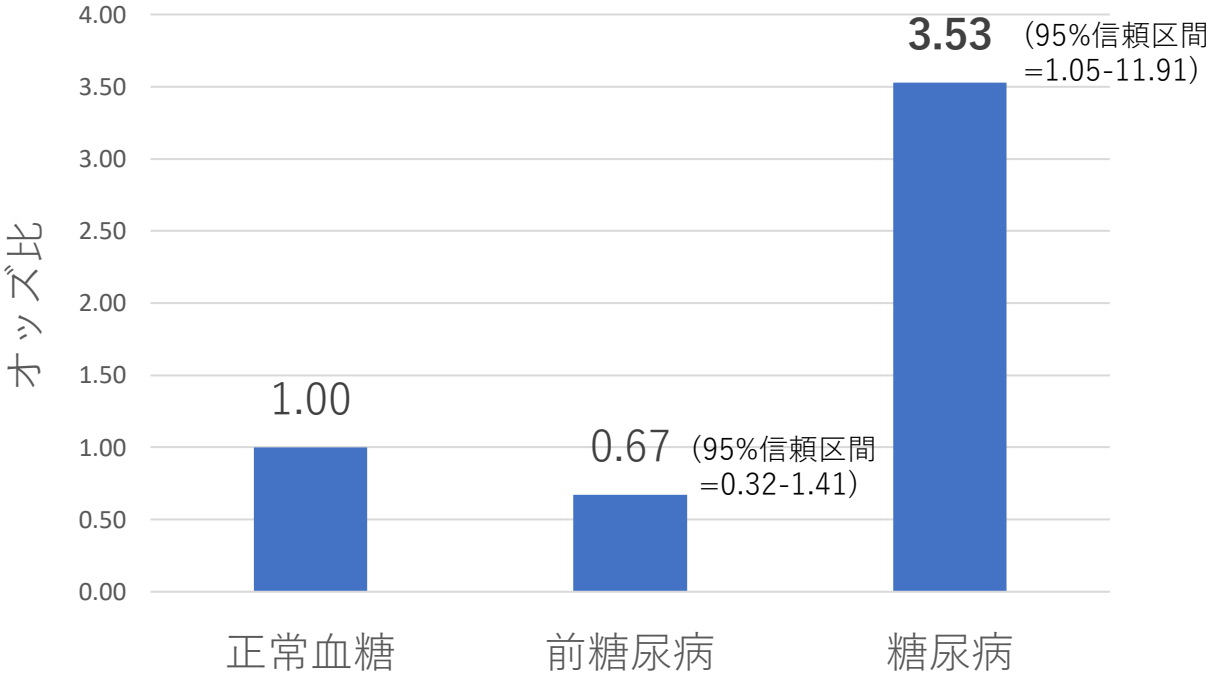
- 米国糖尿病学会の基準を使用し糖尿病状態を定義した。
  - 糖尿病：空腹時血糖≥126 mg/dL、HbA1c≥6.5%、または糖尿病治療
  - 前糖尿病：空腹時血糖 100–125 mg/dLまたはHbA1c 5.7–6.4%
    ＊上述の糖尿病の分類に該当しない人
  - 正常血糖：空腹時血糖<100 mg/dLかつHbA1c＜5.7%
    ＊上述の糖尿病・前糖尿病に該当しない人

  ※自殺前の最新の糖尿病状態に関する情報を使用した。

- 条件付きロジスティック回帰分析

日本人労働者における糖尿病・前糖尿病と自殺の関連

職域多施設共同研究（J-ECOH スタディ）



- 糖尿病患者は血糖正常者と比較して自殺のリスクが有意に高かった。
- 前糖尿病と自殺との関連は見られなかった。

日本人労働者における糖尿病・前糖尿病と自殺の関連

職域多施設共同研究（J-ECOH スタディ）

まとめ：

- 糖尿病患者における自殺対策としてこころの健康にも気を配る必要がある。
- 前糖尿病と自殺との関連は見られなかったが、
  前糖尿病は糖尿病予備軍であるため、留意する必要がある。

国立国際医療研究センター疫学・予防研究部

Fukunaga et al. “Diabetes, prediabetes, and suicide deaths in a Japanese working population.” *Journal of Psychosomatic Research* (2020): 110246.